令和5年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

開催数:17

	(10)
国有林	456
都道府県	115
市町村	41
森林組合	36
林業事業体(森林組合を除く)	79
研究機関	1
その他	11
合計	739

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席	者	目的	内容	写真
				国有林	7 名		現地概要や施業履歴の説明後、ラジコン草刈	ラジコン草刈り機の説明を聞い
				都道府県	8 名		り機(アテックスRJ 7 0 3)の機械性能を説明	ている様子
				市町村	6 名		し、下刈り作業を実施。その後クラッシャーに	
							よる下刈り作業及び伐根の破砕の様子を後方よ	ASTRACTOR STATE
				森林組合	6 名		り見学した。	TO CANAL PER INTEREST
 ラジコン草刈機等下刈			長沼町(馬追国有林8林班	林業事業体(森 林組合を除く)	名		参加者からは、下記のとおり感想があった。	
作業見学会	6月23日	空知森林管理署	ろ1林小班)	研究機関	名	演を通じて、下刈り作業の省	・機械が入ることができるような植付設計を当	
				その他	名	力化に向けた意識を高める。	初から設定していることが印象に残った。	
							・労働力の低減という点ではかなり大きいもの	
					27 名		ではあると同時に効率面を考えると人力で刈ったほうが早いなと感じた。	
				合計			・ゆるい傾斜地での実演だったので傾斜地での	
							現場でも見てみたい。	
							管内全森林管理(支)署を対象に「新しい林	
		森林整備第一課		国有林	235 名	「新しい林業」における造林分野の取組経過、下刈り方針、各種関連通知の改正スケジュール等の周知を図ることにより現状の把握と今後の方針における組織内統一。	業」における取組の経過、目標に向けたスケ	
	7/10			都道府県	名		ジュールの共有を行い次年度以降の方針の目合	
				市町村	名		わせを行った。意見交換会では、機械下刈りを	
±5.1			7/10 檜山署	森林組合	名		見据えた方針、下刈り手法の抜本的改善として	
新しい林業現地検討会	7/13		7/13 上川南部署	林業事業体(森	夕		方針の伝達を行い、今後はそれに向けた通知類	
(内部職員)	7/19 7/20		7/19 十勝東部 7/20 上川北部	林組合を除く)			の改正、細部仕様の決定に向けた予定など認識	
	7/20		7/20 <u>Т</u> /Пабар	研究機関			の共有を行った。参加者からは、「取組みの意	
				その他	名		義・目的を再認識することにより、今後の省力	
				合計 235 名		化に向けた取り組みを推進していきたい」等の		
					255 1		話があった。	

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	í	目的	内容	写真
			網走南部森林管理署	国有林	30 名			
				都道府県	5 名			
				市町村	4 名			
リモコン式刈払機を活		/m → → +n → 11 /// mm		森林組合	4 名		 リモコン草刈り機『アグリア』の下刈作業デ	
用した保育作業の軽労 化現地検討会	7月13日	網走南部森林管理署	小清水担当区311林班ま小 班	林業事業体(森 林組合を除く)	7 名	下刈り作業の軽労化推進	モンストレーション	
				研究機関	名			
				その他	2 名			
				合計	52 名			
				国有林	27 名		植栽を予定している箇所において、低密度植	
				都道府県	6 名	昨年実施した勉強会におい	裁を実施することから、「造林の低コスト化に向けた勉強会」として、①低密度植栽②下刈省力化についての概要説明及び事例紹介を行った。 出席者から、コンテナ苗の確保について等の質問があった。 今後も管内町村林務対象者等と意見交換を交えて情報の共有を図っていく考えである。	
				市町村	4 名	て要望のあった「造林の低コ		
造林の低コスト化に向	0.000	留萌北部森林管理署	天塩町 (六志内国有林 6 林班)	森林組合	2 名	スト化」について、管内町村 林務対象者等を対象に、国有 林での事例等を紹介し、民有		
けた勉強会	8月2日			林業事業体(森 林組合を除く)	名			
				研究機関		林への活用・普及の参考とな		
				その他	名	る情報の共有を図る。		
				合計	39 名			
				国有林	38 名			
		森林整備第一課	上川中部署	都道府県	10 名	国有林における「新しい林 業」(造林分野)の取り組み 状況の紹介、並びに今後の下 刈り手法の抜本的見直し手法 の伝達。	7月に開催した内部の現地検討会を踏まえ、次年度以降の国有林の方針を事業者・関係機関等に周知するとともに、機械の実演も見学する現地検討会を実施した。検討会では、下刈り手法の抜本的改善に向けた取り組みを説明し、参加者からは、「更に省力化に繋がる刈払幅の提案」や、リモコン式下刈機械の実演の見学では、「思っていたよりも効率的に作業が実施できると感じた」など、下刈りの機械化に繋げる前向きな意見や感想が聞かれた。	
				市町村	5 名			
				森林組合	4 名			
新しい林業現地検討会	8月8日			林業事業体(森				
(外部職員)				林組合を除く) 研究機関	名			
				その他	5 名			
				CONB	J 10			
				合計	87 名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席都	Š	目的	内容	写真
				国有林	12 名	下刈り作業の軽労化、安全 性の向上が期待される自走式 下刈り機の普及を図る。		
				都道府県	18 名			
				市町村	名			
『造林作業の軽労化』	08228	即提去如本社签四里		森林組合	2 名		リモコン草刈り機『アグリア』の下刈作業デ	
に関する研修会	8月23日	胆振東部森林管理署	苫小牧市(樽前国有林) 	林業事業体(森 林組合を除く)	名	※令和5年度第1回胆振地域	モンストレーション	
				研究機関	名	林政連絡会議研修項目として		
				その他	名	開催する現地検討会		
				合計	32 名			
				国有林	22 名			
				都道府県	25 名		リモコン草刈機の実演・操作体験。実施した アンケートのまとめの中で一定の評価はありつ つも活用は懐疑的で様子見の意見が多かった。 造林地活用を念頭に「使える・使えない」の判 断が多く見受けられた。 今後を見据えた場合、林業労働者の人員不足 や高齢化問題は待ったなしとなるため前向きな 発想の転換を期待する。	
			森森林事務所部内 鳥崎国有林	市町村	8 名	リモコン草刈機の実演およ		
 低コスト造林に向けた		 共催:渡島森林管理署		森林組合	12 名	びリモコン操作により、林業 事業への活用に期待。合わせ て、マキタ電動工具などにつ いても紹介された。		
リモコン草刈機実演会	9月6日	渡島総合振興局		林業事業体(森	24 名			
				#組合を除く) 研究機関				
				その他	4 名			
				合計	96 名			リモコン草刈の説明および実演
				国有林	12 名		トドマツが優占している育成天然林におい	プロコンギバックが約100名の 天族
				都道府県	名	対象林分を観察しながら議論を深めることにより、天然木の成長力を活用した森林づくりに必要な着目眼や技法等を養う。今回の検討会は、30歳程度以下の若手を中心としたOJT形式で実施した。	下マツか優白している育成大然体において、現地観察を行った後、当該林分の取り扱い方法について議論した。意見交換の場では急傾斜地を除地設定しつつ「複相伐→植栽を行う」	
				市町村	—————————————————————————————————————			
		網走西部森林管理署西紋別支署		森林組合	名			
々せい木づくり田地や				林業事業体(森			「群状択抜⇒低密度植栽」「択抜天Ⅱ」「定性 間伐」「列状間伐」など様々な意見が出たが、	
多様な森づくり現地検討会	9月12日		網走西部森林管理署西紋別 支署 373か・よ林小班	林組合を除く)			面1x	
				研究機関			合っていて、まだ密度管理が必要であること、	
				その他	- 名		②林床をササに占められているために稚幼樹が	
				A = 1			少なく、天然更新は期待できないこと等から、	
				合計 12 名		列状間伐を行うこととなった。今後、この結果 に従い直営で収穫調査を実行する。		
							に元と、 巨白 C X 管型 日 (七大1) する。	

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者		目的	内容	写真
伐採・地拵一貫作業システム現地見学会及び 広葉樹勉強会		網走西部森林管理署	305林班及び遠軽町西町 1 (太陽の丘えんがる公園)	国有林 都道府県 市町村 森林組合 株業事業体(森 株組合を除く) 研究機関 その他		遠軽地域森林整備推進協定 の取組として、協定者が連 携、協力して森林管理技術の 向上を目指す。	代採・地拵一貫作業システム現地見学会では作業地の概要、一貫作業システムの必要性、作業内容の流れ等を説明し、参加者と意見交換を行った。 広葉樹勉強会では広葉樹判別の必要性、それぞれの樹種の特徴等を説明し、参加者は樹種を判別し、同定に至ったポイント等の発表を行った。	左上:305林班での意見交換の様子
クラッシャーを利用し た大型機械地拵作業見 学会	10月10日	留萌南部森林管理署	留萌南部森林管理署 三渓国有林2075る林小班	合計 国有林 都道府県 市町村 森林組合 株業事業体(森 株組合を除く) 研究機関 その他	2 名 1 名 1 名 名	国有林・民有林を問わず再造林を効率的かつ着実に推進することが求められていますが、造林事業従事者数の減少等、多くの課題を抱えており、森林施業の省略化・軽量化等に向けて機械導入が期待されています。 当署で試験的にクラッシャーを利用した大型機械による地拵作業を実施し、民有林関係者等に見学していただき、今後の森林整備における参考にしてもらう。	・バックホウ(0.45m3級)にクラッシャー(油圧式ショベル用マルチャー)を使用した地拵(全刈)作業を実際に見学していただきました。 ・当署の他地区で実施した他の方法(フェラバンチャーザウルスロボ、グラップルの爪でつかむ簡易レーキ)での地拵作業の事例を資料により紹介しました。 ・質疑討論では参加者の皆さんが、準備した資料を手にクラッシャーに近寄り興味を示していましたが、特段意見は出されませんでした。 ・今後も大型機械等を使用した森林整備について、機会があれば検討していきたいと思います。	右下:太陽の丘公園で樹種の特徴について説明
森林経営管理制度等研修	11月8日	石狩振興局森林室 石狩森林管理署 水産林務部森林活用課 石狩振興局林務課	千歳市 37林班	国有林 都道府県 市町村 森林組合 林業事業体(森 林組合を除く) 研究機関 その他 合計	1 名 10 名 9 名 2 名 名 名 名	市町村が取り組む森林経営 管理制度等に基づく森林整備 を円滑に進めるため、制度等 に関する技術・知識の向上を 図る。	森林経営管理制度に基づく森林整備が進まない実態について、千歳市が意向調査及び現地調査をもとに、経営管理権集積計画を樹立し、モデル団地を設定した現地において実際に森林整備まで行ったことについて、意見交換を実施し、他市町村の参考となるよう開催し好評であった。	

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
		林野庁業務課 北海道森林管理局 石狩森林管理署	恵庭国有林 5134林班外	国有林 28	名	前段では室内において、スマホを用いた現地 確認できるアプリの紹介をはじめ、CS立体図傾	
				都道府県	 名		
				市町村	 名 事業発注において、ICT技術		
デジタル技術の活用に	44 84 48			森林組合 1	名 の発展に伴い、デジタル技術	斜区分図の作設ソフトや路網設計支援ソフトの	
係る現地検討会	11月14日			林業事業体(森 林組合を除く)	名 を林業事業体に広め、効率的	説明や意見交換を実施した。午後からは現地に て0フィルドによる現地確認の方法など説明があ	
		日本森林林業振興会		研究機関	な事業実行に資する。 名	り、意見交換を実施し、有意義な検討会であっ	
				その他	— 名	た。	
				合計 51	— 名		
				国有林 30	名本局指導の下、造林初期コ	当署南館森林事務所部内へ設定した「低密度	
				都道府県 16		植栽及び下刈省力化実証地」において、令和4	
		函館事務所	檜山森林管理署 南館森林事務所部内 糠野国有林 171い林小班	市町村	――を占める苗木代・下刈作業の名 名 コスト縮減と、造林作業の軽	年度より植栽苗木の生長量・植生被覆率等のモニタリング調査を行っている。 昨年度末、渡島檜山地域林政連絡会議にて当取組を周知することとしており、国有林野事業における低コスト化の取組を周知出来た現地検討会となった。 併せて、当施業は上記へ記載をしている「新しい林業の推進」の作業仕様となっていることから、簡易的だが新しい林業について説明する会ともなり、函館地区道庁林務担当者へ周知することが出来た。	
		駒ケ岳・大沼森林ふれあい推		森林組合	名 労化を図ることを目的とした		
令和5年度造林コスト		進センター 渡島総合振興局		林業事業体(森 林組合を除く)	 名 「低密度植栽及び下刈省略実		
縮減に向けた現地検討	11月16日			研究機関	一 証地」において、各種モニタ 名 しょ だ調査 たる。 そいる		
会				その他	リング調査を行っている。 名		
				습計 46	等に周知し、造林コスト縮減 に向けた積極的な取組や検 名 討・導入が進むようサポート をする。		
				国有林 5	名	地上3Dスキャナーを用いた現地調査及びパソコン上での解析、蓄積把握のデモンストレーションを行い、その後討論を行った	-V.
		主催:日高南部森林管理署 共催:日高北部森林管理署 共催:日高振興局森林室 共催:日高振興局林務課	新冠町節婦国有林	都道府県 9	名		
				市町村	名 森林整備における低コスト		
現地検討会	12月1日			森林組合	── 化の推進に資する国有林の取 名 ── 組の情報提供(地上3Dス		パソコンを用いた蓄積把握方法の説明状況
	12月1日			林業事業体(森 林組合を除く)	名 キャナーによる収穫調査の取		
				研究機関	名 組について)		
				その他	名		
				合計 14	名		